



紋中たより

発行
紋別市立紋別中学校
令和2年10月30日
第 7 号

「赤信号みんなでわたれば怖くない？」

校長 可児 幹博

午後になると雨が降る日が続き空模様が心配でしたが、みんなの願いが通じ、10月9日は予定通り「しんおんフェスティバル」を行うことができました。コロナ禍のなかで生徒の健康・安全・生命を第一に考え、様々な制限を設けた中の生徒会レクでしたが、生徒達はいつも通り「真面目」に「主体的」にそして、「真剣」にがんばりを見せてくれました。それぞれの組の勝利に向かって、心を一つにして競技にのぞむ様子は、まさに今、私たちに求められている「あきらめず、できることに全力を尽くす」姿を見せてくれたと高く評価しています。



さて、北海道のコロナの感染状況ですが連日の報道からも、決して安全とは言えない状況にあると思います。しかし、様々な規制緩和が行われ、社会全体の雰囲気としてはゆるみがあるように思えます。慣れてしまったといえればそれまでですが、「慣れる」、とあえていうならば、それはウイルス対策が日常の常識になった状態のことを指すのであって、気にしない生活をするのではないのではと思います。初めはあれほど危険を感じていたのに、だんだんと感覚が麻痺してしまったのか、それとも、目の前の危機を考えようとせず、「だいじょうぶだ」と安易に考えようとしているのか。おそらく、そのいずれもの感覚がゆるみにつながっているのではと思います。

私は避難訓練などで「正常性バイアス」や「集団同調性バイアス」の話を生徒にすることがあります。「正常性バイアス」とは人間の心理として、非常時なのに「まさかこんなことが自分に起こるわけない」と捉え、目の前で起きていることは「これは現実ではない」と考えてしまう傾向で、思い込みによって頭が非常事態とは考えられない状況です。また「集団同調性バイアス」とは、人間は集団では無意識に牽制し合い、他人と違う行動が取れなくなり、逃げる等の行動のタイミングが遅れたり、多数意見が正しいという考えに支配されたりすることです。まさに「赤信号みんなでわたれば怖くない」という根拠のない心理状態です。

学校の状況はと考えると、少なからず「慣れ」も見られます。正直「しょうがないか」と考えてしまう場合もあります。しかし12月には、延期となっていた2年生の宿泊研修、3年生の修学旅行が予定されています。どちらも紋別を離れての活動となります。マスク、手指の消毒など感染症対策に十分留意して実施してまいりたいと考えています。

大切なことは生徒自ら危険を予測し回避することではないかと思えます。学校においても、



家庭においても新型コロナウイルスについての情報や対処方法についての知識は生徒に伝えているはずですが、その知識を基に状況をしっかり判断し自ら命を守る最善の行動をとる。これが紋別中学校で大切にしている「主体性の育成」そのものだと感じています。

普段の生活や、宿泊研修、修学旅行でそのような行動がとれるよう繰り返し指導いたしますので、ご家庭でもご協力をお願いします。

第14期生徒会役員会が企画・運営

「しんおんフェスティバル」を実施

10月9日(金)の3・4校時に「しんおんフェスティバル」を実施しました。

第74期生徒会では、『しんおんフェスティバルに取り組むことを通して、相手に対する思いやりの心を覚醒させ、クラスやチーム内で積極的に意見を言い合える関係をつくること』を目的として進めてきました。



▲全校生徒が協力して作成した「ちぎり絵」の作品

夏休みの前から準備を進め、評議員会で原案を提案し、ハチマキの色を決めたり、種目について検討しました。

10月1日(木)から本格的な取り組みをスタートさせました。学級ごとにリレーと長縄跳び(生徒会種目「異体同心〜つかめ友笑〜」)の作戦を考え、練習に取り組みました。

しんおんフェスティバル当日は、天候に恵まれ、クラスの仲間とともに全力で競技を行うことができました。

企画から運営まで担当した第74期生徒会役員のみなさん、本当にお疲れさまでした。



【生徒会種目「異体同心〜つかめ友笑〜」の順位】

	1位	2位	3位
長縄とび	3B	2A	3A

【しんおんフェスティバルの結果】

	1学年	2学年	3学年
優勝	1C	2A	3B
準優勝	1B	2B	3A
第3位	1A		

修学旅行 保護者説明会

10月14日(水)18:30から視聴覚室を会場に修学旅行の保護者説明会を実施しました。

紋別観光振興公社旅行センターの佐藤様に来て頂き、学校と旅行会社から旅行先や日程・内容の変更、新型コロナウイルス感染症対策など、説明をさせて頂きました。

期日 令和2年12月8日(火)～10日(木)
2泊3日

旅行先 白老・札幌方面



主な旅程
1日目…学校発・バス移動
白老ウポポイ見学
登別温泉泊
2日目…登別マリンパークニクス・
登別伊達時代村見学(選択)
バス移動
札幌自主研修
札幌泊
3日目…バス移動
植松電機体験見学(赤平市)
バス移動・学校着

新型コロナウイルス感染症の主な対策として、バスは2台から4台に増便する、宿泊施設は一部屋あたり2～3名になるように調整する、食事はバイキングや大皿料理は避けて1人ずつのセットメニュー形式で提供するなどを行います。

その他には、日常的に行っている朝晩の検温、マスクの着用、手洗い・消毒の徹底、ソーシャルディスタンスについて改めて確認をさせて頂きました。

3年生にとって思い出に残る素晴らしい修学旅行になればと願っております。

各家庭でのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い致します。



第 75 期生徒会役員認証式

10月22日(木)朝読書の時間を活用して、第75期生徒会役員の認証式が行われました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、校内放送で認証式を行いました。

校長先生から新生徒会役員一人ひとりに認証状が手渡され、その後、新生徒会長からの挨拶がありました。

いよいよ第74期生徒会から第75期生徒会がバトンを引き継ぎ、本格的に2年生と1年生が紋別中学校の中心となって活動を進めていくこととなります。新生徒会役員はもちろん、2年生と1年生の活躍に期待しています。



▲放送室での認証式

▲新生徒会長の挨拶

紋別中学校 学校運営協議会 (コミュニティスクール・CS)

10月16日(金)18:30 から紋別中学校部門の学校運営協議会を行いました。

「これからの部活動のあり方について」をテーマに話し合いを深めました。

はじめに紋別中学校の地域連携担当者から生徒数・教職員数の減少と部活動の数について、学校における働き方改革と部活動についての説明がありました。

論議を進める中で、『学校部活動』と『地域部活動』の共存が、子どもたちの活動の場の保障に繋がるという結論になりました。

『地域部活動』については、紋別中学校だけの問題ではなく、市内中学校との関りも出てきます。今後、潮見中学校、渚滑中学校との合同の学校運営協議会を開催して熟議ができればと考えています。



スクールソーシャルワーカー を活用してみませんか？

こんな生徒はいませんか？

- 学校へ行く気力を失っている。(朝、起きられない。出かける元気が出ない。)
- おうちでの生活が乱れている。(家の中が片付かない。食事が摂れていない。)
- 家の中での役割・手伝いが多く、勉強ができない。または登校ができない。
- 友達や家族と、または学校の先生との関係がうまくいかずに悩んでいる。

スクールソーシャルワーカー(SSW)とは、子どもたちが学校や家庭生活において出会う様々な困難を解決するためのサポートシステムです。

スクールカウンセラーとの違いは？

- スクールカウンセラーは、主に生徒の心理面をサポートする人です。
- スクールソーシャルワーカーは、生徒の抱える問題に対して環境面からサポートする人です。

4月から紋別市教育員会にスクールソーシャルワーカーの尾崎仁美さんが在籍しています。

些細なことでも尾崎さんに相談してみませんか？

スクールソーシャルワーカーの活用を希望される保護者の方は、担任または教頭まで連絡を下さい。



【11月の主な行事予定】

- 2日(月)…安全点検日、巡回司書
- 3日(火)…文化の日
- 4日(水)…専門委員会
- 8日(日)…英語検定2次試験
- 10日(火)…スクールカウンセラー(午前)生徒総会
- 11日(水)…全学年学力テスト、巡回司書職員会議
- 12日(木)…専門委員会
- 17日(火)…巡回司書
- 22日(日)…部活動中止
- 23日(月)…勤労感謝の日、部活動中止
- 24日(火)…部活動中止
- 25日(水)…2学期期末テスト、巡回司書
- 27日(金)…全学年英検I BA
- 30日(月)…3年三者面談、巡回司書